

(対象期間：2020/12/7～2020/12/11)

### 【株式市場】 SENSEX指数の推移 (2016年1月1日～2020年12月11日)

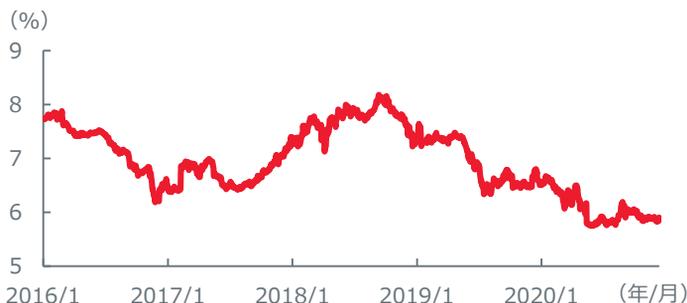


### 【株式市場】

週初は、新型コロナウイルスのワクチンへの開発期待が続き、インド株式市場は上昇しました。8日は、財政赤字を意識して景気支援のための支出を削減することはしないとの財務相の発言も好感され、続伸しました。9日は、インド国内での数週間以内のワクチン承認の可能性が報じられたことを受けて一段高となりました。10日は利益確定売りが出て反落し、11日は小幅上昇となりました。週間では上昇し、SENSEX指数などの主要株価指数は過去最高値を更新しました。

2020/12/4	2020/12/11	変化率
45,079.55	46,099.01	+2.26%

### 【債券市場】 インド本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2020年12月11日)



### 【債券市場】

週初からインド準備銀行（中央銀行、RBI）による追加の国債購入オペの発表待ちの状況が続き、7、8日のインド10年国債利回りは上昇（価格は下落）しました。9日は、政府が現行のインフレーションターゲットの緩和を検討していると報じられたことを受け、利回りは低下しました。10日は翌日の国債入札を控えた警戒感から再び利回りが上昇し、11日は翌週発表予定の消費者物価指数（CPI）への警戒感から利回りはさらに上昇し、週間でも上昇となりました。

2020/12/4	2020/12/11	変化幅
5.822	5.898	+0.076

### 【為替市場】 インドルピーの対円レートの推移 (2016年1月1日～2020年12月11日)



### 【為替市場】

週初、米国が新たな対中国の制裁を検討しているとの報道を受けてルピーは対米ドルで弱含みましたが、その後週半ばにかけて、外国人投資家のインド金融市場への資金流入がルピーの支援材料となり反発しました。しかし、週末にかけて再び軟調となり、週間では小動きとなりました。一方、円が対米ドルで小幅下落となったことから、対円では小幅上昇となりました。

2020/12/4	2020/12/11	変化率
1.411	1.413	+0.11%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル・グループ

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。